

カリキュラム区分		4カリ		シラバス区分		学部生		
科目区分	科目コード	履修時期		開講学科	選択区分	科目名（上段：和名、下段：英名）	時間	単位
		学年	学期					
専門基礎科目	402	1年	後期	臨床検査学科	必修	生化学 Biochemistry	45	2
担当教員								
松村 美紀								
関連するDPキーワード（看護学科）								
	① 幅広い視野と豊かな感性を身につけ、人々の権利や意思を尊重した倫理的な看護が実践できる。							
	② 他者との関係性を成立・発展させるためのコミュニケーション能力を身につけている。							
	③ 地域で生活する複雑・多様な対象を、専門的知識に基づき総合的に理解するための基礎的能力を身につけている。							
	④ 看護の対象が、その人らしく生きられるように、科学的根拠に基づいた看護が実践できる能力を身につけている。							
	⑤ 地域社会及び保健・医療・福祉分野における多職種と連携・協働し、看護職の役割を拡大できる基礎的能力を身につけている。							
	⑥ 看護専門職として、主体的・創造的に継続学習に取り組む能力を身につけている。							
	⑦ グローバルな視点で看護実践を科学的に探究し、看護を発展させる基礎的能力を身につけている。							
関連するDPキーワード（臨床検査学科）								
	① 幅広い知識・教養をもとに、医学検査の対象となる人を総合的に理解し、その人の権利や意思を尊重することができる。							
	○ ② 医学的に必要な専門知識・技術を備え、検査データを総合的に解析する力を身につけている。							
	③ 多職種間で連携・協働しながら医学検査の専門家として貢献できる力を身につけている。							
	④ 医学検査とそれぞれに関連した幅広い分野の発展・向上のために、自らの能力を高める自己教育力を身につけている。							
	○ ⑤ 科学的思考力に基づき、医学検査の進歩・発展に対応できる学究的態度を身につけている。							
	⑥ 医学検査を通して、社会の多様性に合わせた貢献ができる基礎的能力を身につけている。							
授業目的								
生命現象を理解するためには、生体を構成している物質に対する知識が必須である。生体物質の種類・構造・機能ならびに、その代謝機構を十分理解し、それらの代謝と生命現象との関係を理解する。								
1 糖質、脂質、蛋白質、核酸の構造と役割について理解する。								
2 酵素と代謝について理解する。								
3 代謝の調節機構について理解する。								
到達目標（授業目標）								
① 糖の定義を理解し、構造式を見て糖であることを説明できる。								
② 好气的エネルギー代謝と嫌气的エネルギー代謝について説明できる。								
③ タンパク質の構造とその性質について説明できる。								
④ 酵素反応の基本的特徴、酵素反応速度論について説明できる。								
⑤ 中性脂肪の構造、リン脂質の共通構造と膜成分としての働きを説明できる。								
⑥ 脂肪酸の名前、系統名、炭素数、飽和・不飽和、必須および非必須の区別ができ、脂肪酸の生体内での働きを説明できる。								
⑦ リポタンパク質の種類と役割が説明できる。ケトン体ができやすい状況が説明できる。								
⑧ 酸塩基平衡の意味がわかり、その異常の種類について説明できる。								
回	授業計画（項目・内容と方法・担当者）							
1回	生命現象と生化学、生体高分子、細胞の構造と働きについて講義する							
2回	糖質の定義、構造、分類、性質について講義する							
3回	アミノ酸、タンパク質の構造と性質について講義する							

備考						